

# 兵庫県パース事務所

## インターンシップ報告書

経済学部 2回生  
新田 芽衣

実施期間：平成29年3月8日（水）～4月5日（水）

### ● インターンシップの研修内容

\* 事務所で開かれる催し物にむけての机、いす並べ

- ・ 派遣されていた日本語教員の方のお別れ会（いす並べ、ドリンクを渡す係）

\* 日本語を学習する場に参加させてもらう機会、センターのメンバーさんと交流

- ・ 日本語教室へ参加（毎週木曜日と土曜日の午前、アシスタントというよりは生徒の一人として参加）
- ・ パースモダンスクールにて日本語授業の見学
- ・ 不定期に事務所で行われる日本語補習校への参加（アシスタントとして生徒のリーディングを聞いたり話したりするお手伝い）
- ・ チャーターボックス（毎週土曜日の午後）

\* 一番主要な業務

- ・ パース日本祭りにむけてのお菓子の詰め合わせ作業
- ・ パース日本祭り当日の売り子

\* 最終のプレゼンテーションにむけて

- ・ フライヤー作り
- ・ 予約してくれた会員さんへのメールの返信作業
- ・ 事務所の模様替え（ひな壇の片づけ）
- ・ 最終プレゼンの用意、練習（事務所の方々が意見や感想をくれるのでその後直し）
- ・ 最終のプレゼン

## ● インターンシップで必要な英語力・スキル

### \*英語力

実際の業務は、私の英語力でできる仕事を与えてもらっていた（とても単純なものばかりであった）ので、今回の研修の作業の中で英語がわからなくてどうしようもなくなるという場面はありませんでした。もしわからなくても、事務所の方が日本語または簡単な英語で言い直してくれたり、文章をチェックしてくれたりするので安心できます。もっと英語力があれば電話対応や、広告用のメールを送ることもさせてくれるかもしれません。しかし、事務所に来るメンバーの方や、ホストファミリーと話すために、日常会話がスムーズにできるととても便利だと思います。みなさん優しいので拙い英語を理解しようとしてくれますが、うまく喋れない自分にストレスが溜まりました。会話の中で TOEIC の勉強が役立ったと感じたことはあまりなかったのでスコアをあげようとするよりも話す練習をして来た方がよかったなと思いました。常套句のようなものは覚えていて役に立ったし使うたびに自然に言えるようになりました。



### \*明るい表情を作って人と話すスキル

緊張せずに笑顔で自分から一声かけることができれば、コミュニケーションがとりやすくなるし、相手の人がいい印象を持ってもらえます。

### \*日本の事を知っておくこと

事務所に来て下さる方々や話かけてくれる方々は、日本に興味を持っていてくれる方であり、何度も日本に旅行したことがある人も多かったです。その人たちとの会話を充実したものにするために、思っていたよりずっと日本の事を知っていく必要がありました。簡単なことというと、観光地のことや、震災など大きなニュースになったことです。私より日本の事を知っている方がたくさんいて、情報を提供できないどころか対等に話ができないことを申し訳なく感じたし、恥ずかしく思いました。

### \*時事問題に注目しておくこと

事務所で所長と話をさせていただくとき、日本や世界のニュースを知らなくてたくさん教えていただきました。社会で起こったことや今起っていることを知っておく大切さを感じました。

\*インターンとして来ていること、周りの人から「日本人」として見られていることを忘れない

メンバーさんたちとの話が楽しかったり、仕事とは言え簡単だったりしてつい忘れてしま

うことがあり、事務所にいるときは周りをよく見てその中で自分が何をすべきかをずっと気かけないといけないと思いました。

また、日本のことを好きでいてくださる方や日本に対していいイメージを持ってくださる人が多くて本当に嬉しかったです。一方で、自分の言動で日本のイメージが左右されるかもしれないと思うと、「日本人」として見られることは意外に責任が重いことのように感じました。

### ● インターンシップで得たこと

今回の研修では自分のだめなところばかり見つけて、実際に得て成長したといえるものはわかりません。しかし英語力や知識の無さ、考えの浅さなどを感じた分、それらをもっと吸収しよう、深めようという原動力のようなものを得たと思います。特殊な体験であり、本当に少しだとは思いますが、社会に出たらこんな感じなのかと感じました。今までに参加した研修は自分たちが中心として扱われるようなものが多かったのですが、今回の研修は元々あったものの一部として動くために入れていただくものだったので、そういうことはインターンシップとしての体験になったと思います。所長や事務所の方が手加減せずに感想や意見を伝えてくれたり、私には分からない仕事の話をしていたりする様子を見て、仕事することにプライドや責任感を持つことの大切さや楽しさを感じました。



### ● 印象に残ったこと

課題のひとつであったプレゼンテーションが一番苦勞したし、勉強になりました。元々自己リサーチテーマやプレゼンテーションに自信がなく、好きではなかったので、心のどこかで簡単に適当に終わらせようとしていました。そういう気持ちで時間にも追われて作ったプレゼンテーションを事務所の方々に練習で発表すると、内容の不足とそのトピックについて私自身の気持ちが薄いことをすぐに指摘されました。そういう気持ちで作った内容だと人に伝わることを知ったし、聞き手の立場になって考えてなかったことも反省しました。

### ● インターンシップが今後どう活かされていくか

私はこの研修が、自分の進みたい方向を確信する機会になりました。私はずっと英語や外国に興味があったため、「国際」「異文化」「海外」などのワードが付く授業や研修に飛びついてきたような感じでした。しかし、もうすぐ就職しなければならないという現実が見えた時、興味はあるけど広すぎる「国際」という範囲の中で自分がどんなことがしたいのか、むしろどんなことができるのか分からなくなっていました。長期留学したいという思いもずっと持っていたのですが、費用のことや、行って結果を出せるのか自信がなくて、行きたい気持ちに蓋をしてそれで納得したような気持ちになっていました。しかし今回1か月滞在する機会を頂いて、自分はやはり外国に出たい、外国で働いてみたいと強く思いました。パースに留学生や日本語アシスタントとして来ている日本の学生や、たくさんの人に出会って話をする中で、自分は無意識のうちに、かなり周りに流されていたことを実感しました。狭い考え方をしていたと思うし、今はいい意味での「周りの事を気にしない」という考え方をつかんだ気がします。

あとは、今までも何回か海外に行って同じようなことを感じたはずなのに、今回の研修では知識を持つことと、自分の考えを明確に伝えるための言葉の使い方を知ることの重要さと必要性を痛いほど感じました。日本に帰ってきてからは今まで読まなかった新聞を読んで情報を得たり、学校の勉強内容を日々の生活や体験したことと関連づけたりして考えることができるようになりました。言葉の使い方に関しては、まず自分の考えを言葉にするために、自分が自分の考えていることを明確にして人に伝えようとしています。まずは事実に基づいて自分の意見を考える力と、それを伝える日本語力、英語力をつけたいと思います。

### ● 後輩たちへのメッセージ

もし自己リサーチテーマで何をすればいいのかわからなくて、この研修への参加希望を迷っている方がいたら絶対参加希望した方がいい！とだけは自信を持って言えます。この研修に限らず、何に対してもちょっとでも興味があるなら「ちょっとやってみようかな」と挑戦されることをお勧めします。今回の研修で、私は結構曖昧にテーマを決めて行き、その結果自己リサーチという課題は失敗しました。しかし、失ったものはないし、研修を通して学んだことばかりでした。今のところ目的や夢が無くても、何かしらする中で見つかるかもしれません。見つけられなくても、自分の経験や知識は、意外なものが意外なところで役に立ちます。

なんとなくとかとりあえずでやってみたことが予想以上に自分の視野とか夢を広げたという場面が結構あると思います。「楽しくなかったらやめたらいい」くらいの軽い気持ちで、でもやるときは本気で、ぜひ何でも挑戦してみてください。

次のインターンシップ研修が充実したものになることを願っています。